

発表者

- 臨床検査技師
職場：社会福祉法人旭川荘
旭川荘療育・医療センター
- 情報処理安全確保支援士
(登録番号：第021355号)
- 子ども達に関わる事
 - 蓮昌寺保育園保護者会
 - 穰子ども会
 - 宇野小学校PTA
- 3児の父
 - 長男：小5
 - 次男：小3
 - 三男：みかん組

2020年度



2021年度



内容

穉子ども会のご紹介

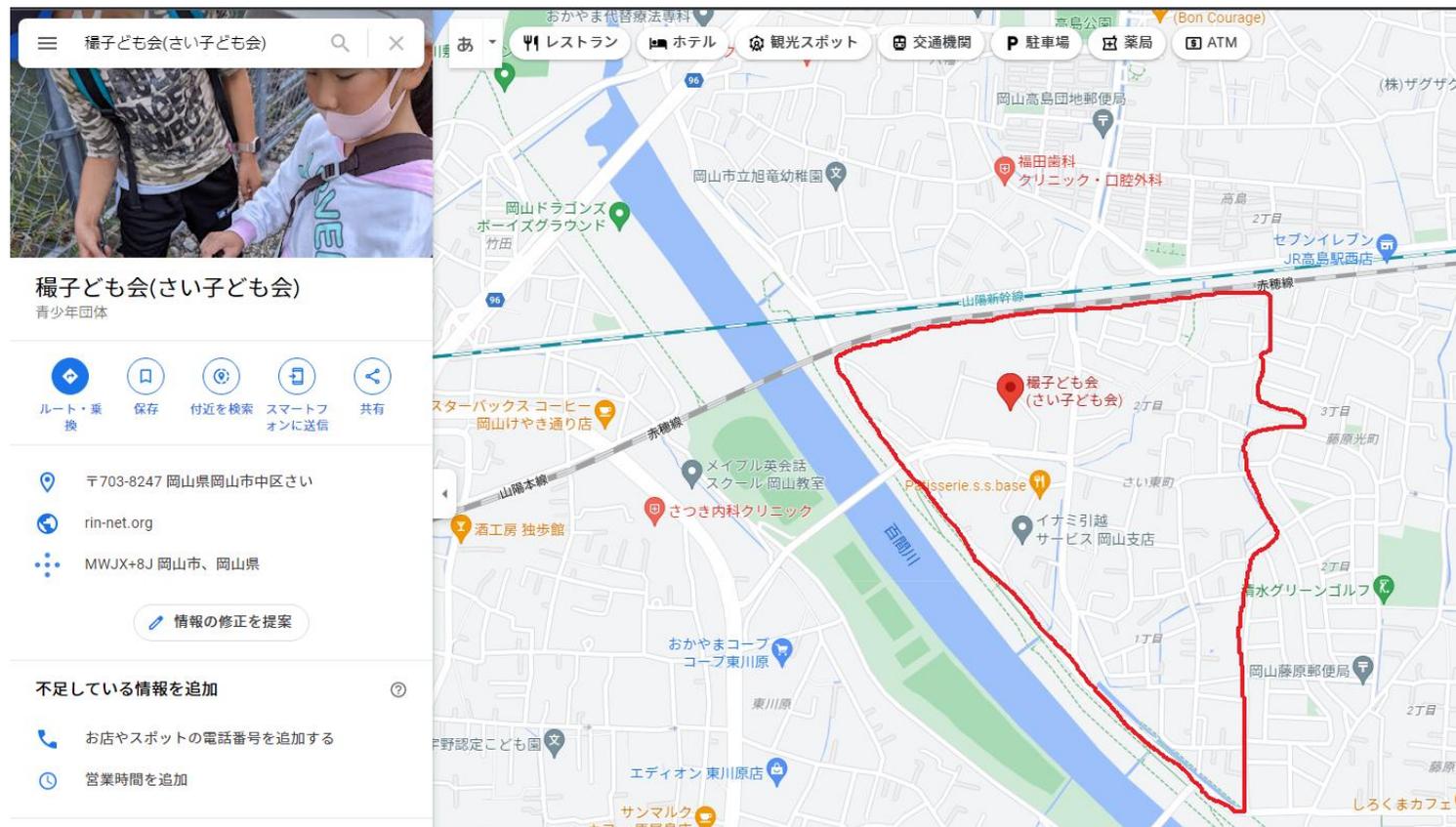
助成申請に至るまでの経緯

助成事業報告

今後の方針

穨子ども会 のご紹介

- 昔ながらの子ども会
- 岡山市中区穨・穨東町
を中心
- 入退会自由
- 2021年度は小学生
34名、乳幼児12名
の子ども達が在籍
- 定例活動
年4回のお楽しみ会
廃品（資源ゴミ）回収



出展：Google検索「さい子ども会」より

穨子ども会の詳細はwebサイトをご覧ください。
<https://www.rin-net.org/saikodomokai/>

普通の子ども会が助成申請に至るまで

1. 課題と要因の整理

課題：子ども会なのに子どもが少ない

2017年度（長男1年生当時）の穰子ども会入会者

子ども：20人（小学生14人、幼児・園児6人）

大人：31人（育成者・保護者、指導者含む）

合計：51人

子どもの人数よりも大人の方が多いい子ども会！！

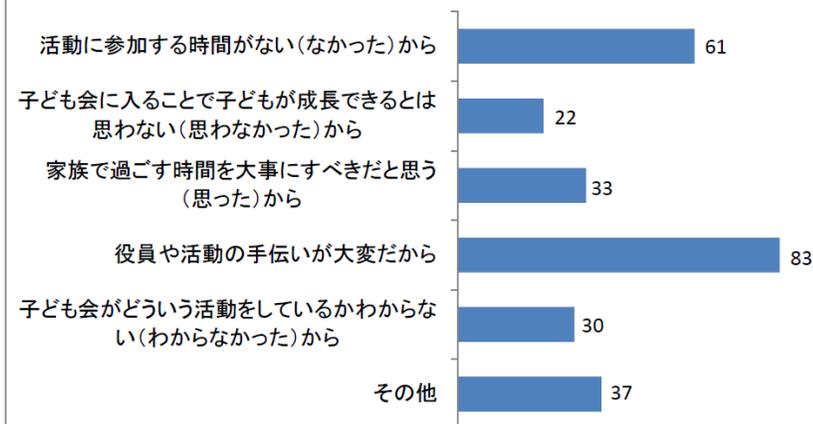
要因：子ども会に魅力を感じない

理由1. 役員や手伝いが大変（1番の理由）

理由2. （親子とも）時間がない

理由3. 活動内容が分からない

問12：子ども会に加入していない（していなかった）理由（問3で「加入していない（していなかった）」と回答した人・複数回答）



子ども会 は必要？

実際のところ

- ・ 個別意見では肯定、否定のどちらも出ているが、実際の加入率を考えると「**必要性**」を感じている人は少ない。

理由

- ・ 子ども会の目的や利点が分かりづらい（共助型）。
- ・ 異年齢活動や体験活動は別の組織でも可能（学童保育・習い事等）。

子ども会の必要性

- ・ 長期的な視点から、知識や体験の引き出しを増やすために**子どもや保護者が積極的に選択しない活動**を行う（社会教育団体）。
- ・ **様々な環境の子ども・保護者を地域につなげる組織としての必要性**は増している（地域団体）。

出展：https://www.chugoku-np.co.jp/column/article/article.php?comment_id=754389&comment_sub_id=0&category_id=1060

(中国新聞デジタル) 2021年11月閲覧

トップ > コラム・連載・特集 > こちら編集局です あなたの声から > 「親がしんどい」子ども会、役員・会費ゼロの工夫も 「加入率低迷」に反省【こちら編集局です】

コラム・連載・特集

「親がしんどい」子ども会、役員・会費ゼロの工夫も 「加入率低迷」に反省【こちら編集局です】

2021/5/15 21:39

子ども会の加入率低迷を取り上げた4月の「こちら編集局です」の記事に、無料通信アプリLINE（ライン）などで多くの反響が寄せられた。会の良さは感じつつも、業務に疲れ切っている役員は少なくないようだ。現代の暮らしにマッチする子ども会はどうあるべきなのだろう。届いた声の中には、廃品回収で得た資金を活動費に充て、役員ゼロ・会費ゼロを実現するなど、さまざまな取り組みの工夫もあった。

東広島市八本松町正力地区では2015年、加入者の減少に伴い、四つの子ども会が統合した。代表は置くが、役員は廃止。各行事では保護者が無理のない範囲で運営に参加し、地域ボランティアも協力する。会費はなく、月1回の廃品回収で得た資金を活動費に

子ども会について寄せられた 主な意見

「役員を引いたら退会できる」との文庫があり、みんな戦うように引き受けては去った

土日祝日の会合を減らす、名簿作成を簡略化するなど、役員の負担を減らさないといけない

役員をしたことで他学区の保護者とも交流でき、充実していた

行事や会費が年100回以上あった。運営を控えようにも、0回に「今までこうだったから」と却下された

世話をする人がいるからこそ楽しめる。加入しないなら行事に参加すべきではない

普通の子ども会が助成申請に至るまで

2. 目標と対策

方針

目標設定

- ・地域団体としての必要性を生かす

子ども会存続のために

- ・子どもの人数を増やしたい！！

対策の対象

- ・保護者からの敬遠

対策の方向性

- ・わかりやすいメリット
- ・短期的な成果

具体案

- ・地域（内外）に暮らす全ての子ども・保護者が参加しやすく子どもと保護者のより良い生活に貢献する団体

目標：全ての子ども・保護者を地域につなげる子ども会

- ・加入者数（子ども）
- ・運営資源（人・資金）

子ども会の安定、継続した運営

対策：分かりやすく魅力的な活動

- ・体験学習活動の実施
*参加しやすいもの
- ・情報公開（webサイト・SNS・事業報告掲示等）

要因：子ども会に魅力が感じられない

- ・役員や手伝いが大変
- ・（親子とも）時間がない
- ・活動内容がわからない

助成活動報告

- 日程：
 - 2020年8月8日
 - 2020年8月24～25日
- 参加人数：
 - 延べ32人
- 内容
 - 市街地での星空観察
 - 美星町での星空観察

* 詳細は教育文化活動助成報告書2020 P82をご参照ください。



新型コロナウイルス感染症

- 今から考えると状況はまだマシでした。
- 困ったこと
 - 参加募集時期と陽性者数の増加時期が重なり、参加者が当初より減少。
 - 感染症対策と活動との兼ね合いが手探り。
- 事業実施後の感想
 - 細かい意思疎通が取りやすく地理的な範囲も狭い子ども会のため、活動前を含めた参加者の体調や、周囲の感染状況は確認しやすかった。
 - 結果的に新型コロナウイルス感染は起きなかったが、実施当時の子ども達へ感染症対策を徹底することは難しかった。

成果

普通の単位子ども会でも公募助成に採択され、事業を完了することができた！！

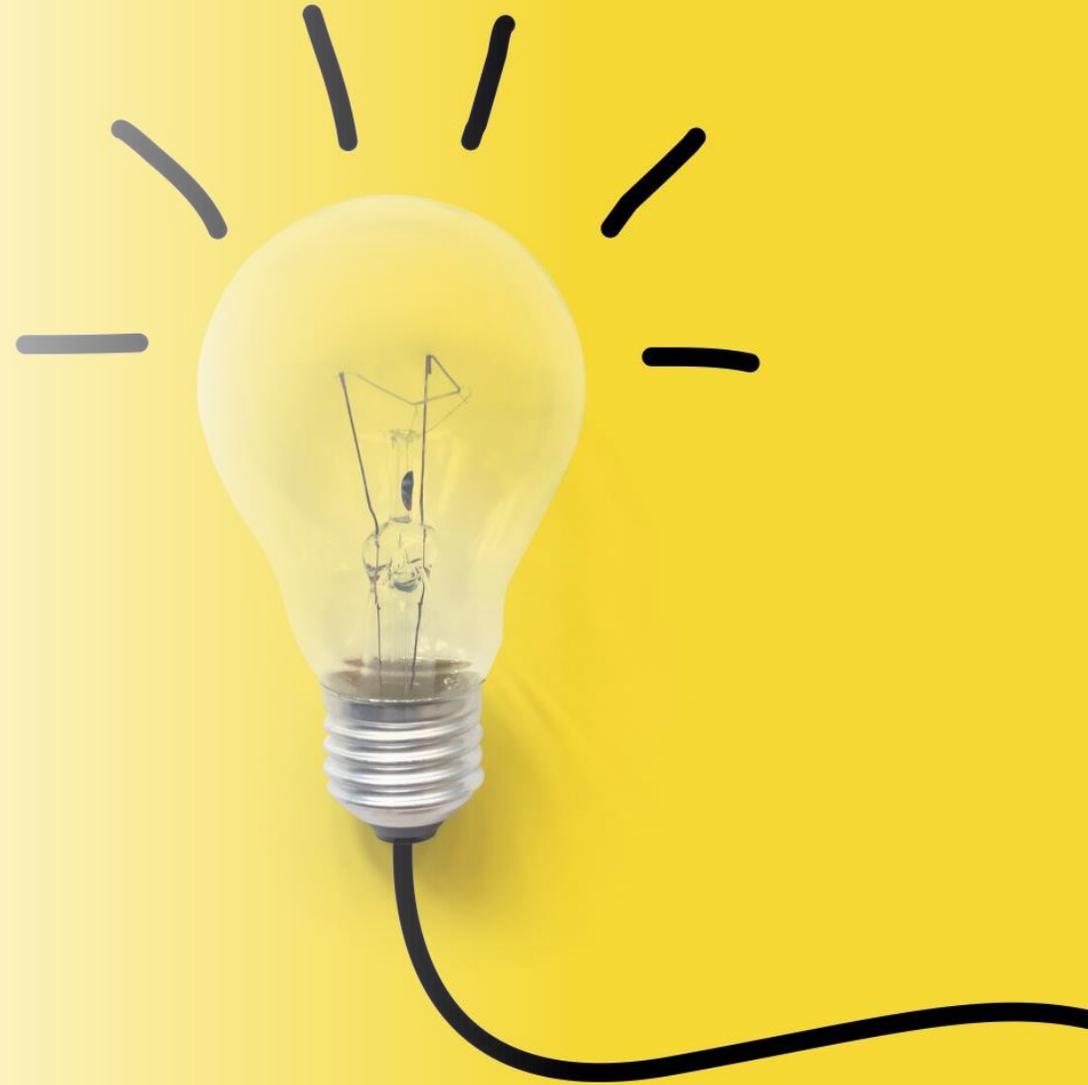
学校・地域の行事が中止になるなか、宿泊での体験学習活動を子どもだけでなく大人も楽しみながら行うことができた！

図鑑や映像ではなく望遠鏡で初めて土星の環や木星を見て、実際に目で見ることの驚きを受けていた！

子どもから直接「最初は興味が無かったけどやってみたら楽しかった」の声を聴くことができた！！

挑戦したいこと

- 学区外の子ども達との協働活動
- 子ども自身が企画・申請する助成活動
- 企業との協働
- 事業の多角化（収益の安定化）



謝辞

- 何よりも、助成を採択していただいた福武教育文化振興財団様に深謝いたします。
- また、Fukiya Design 那須様につきましては、新型コロナウイルス感染症での活動アドバイスのみならず、初めての体験学習を行うなか星空観察にも参加・ご協力下さり誠に感謝しております。